

ゲートなしで出庫楽々

駐車場新形態 精算ナンバーで



県内の大型商業施設や百貨店の駐車場で、駐車券やゲートを無くし、車両のナンバープレートを撮影して料金を管理するシステムの普及が進んでいる。入出庫の際の渋滞緩和や、ゲートやロック板との接触事故を無くせるなどのメリットがあり、有料駐車場の新形態として注目が集まっている。

【加藤佑輔】

4月、奈良市二条大路南1の商業施設「ミ・ナアラ」が、これまで駐車場に設けていたゲートを撤去し、客が帰る際にナンバープレートの4桁を精算機に入

力して精算するシステム「スマートパーク」を導入した。ミ・ナアラでは同月、人気スーパー「ロピア」が1階にオープン、多数の客が車で来店することによる駐車場の渋滞を緩和しようとして、新システムの導入を決めたという。

ミ・ナアラの担当者は「駐車場内で渋滞が起きると、周辺道路も



車両のナンバーを入力し、料金を支払うミ・ナアラ駐車場の精算機

混雑するなど大きな影響が出てしまう。導入以前に比べ、渋滞は確実に緩和しており、効果は出ている」と明かす。

システムを開発・管理する「ビットデザイン」(東京都千代田区)によると、駐車場の入り口で車両を撮影し、精算機に画像データを送信、精算時は駐車券の代わりに車両ナンバーを入力し、精算済みの車は出口でカメラが

認識する仕組みとなっている。

県内では他に、イオンモール奈良登美ヶ丘(生駒市)▽近鉄百貨店橿原店(橿原市)▽ザ・ビッグエクストラ大安寺店(奈良市)▽ならコープ・コープ学園前(同)で導入されている。雨天時には精算の際に窓の開閉で車内がぬれることを避けられる他、駐車券紛失によるトラブルを無くせるなど、客のストレス

を軽減し、快適に買い物に来てもらえるメリットが注目され、普及が進んでいるという。

一方、駐車券もゲートも無いとなると、料金を払わずに駐車場を出る客はいないのか。「スマートパーク」では、誤って料金を払わずに駐車場を出てしまった車には、次回来店時に未払い料金を加算請求したり、故意に料金の未払いを

繰り返す悪質ドライバーに対しては、車のナンバーを店側に通知したりする仕組みになっている。

ビットデザイン大阪営業部の

ケル

グ

ル

メ

ラ

メ

ラ

メ

ラ

メ

ラ

メ